

第3回国際集會

「外に向かうACIファミリー：

- ともに暮らす家を保護し
- もっとも恵まれない人々と関わりながら」

マドリッド、2019年2月24日-3月2日

ACIファミリー、聖霊の賜物...
世界のための家族

ACIファミリーのための挑戦

ACIファミリーとしてこの数年に生きた様々なこと、又、聖心侍女修道会の第20回総会、および、ACIファミリーの第3回国際集會に参加した体験を思い出しつつ過去を振り返る時、わたしたちの心に湧きおこるのは、「感謝」、この一言に尽きます。ACIファミリーの発展、多くの実り、そして、共に歩んできた長い道のりに対しての感謝です。

今、私たちに残されているのは、さらに前進を続け、国際集會の日々に体験したことを深めることです。わたしたちは、ACIファミリーの霊性をさらに掘り下げていきたいと思います。この霊性は、聖ラファエラ・マリアと初期の聖心侍女とともに生まれ、世界のための聖霊の賜物となることを望む「信徒のファミリー」を、聖霊によって、生み出しました。

わたしたちはまた、教皇フランシスコがわたしたちに期待されているように、そして、わたしたちの集會のテーマが思い出させてくれるように、「ともに暮らす家」を大切に、最も恵まれない兄弟姉妹たちに関わりながら、外に向かう姿勢で生きることを望みます。

ここに、考察の手がかりになると思われるいくつかのアイディアと、実行可能な提案を記します。世界中のACIファミリーのすべてのグループがこれを手引きに考察し、出発点とすることができるためです。

1. 第20回総会へのACIファミリーの参加（2017年2月）

「この総会の新しさは、ACIファミリーの国際委員会のメンバーの幾人かが参加したことでした。エステル・ペレス、セシリア・ポルトガル、カタリナ・ギアオ、ピラール・グスマンaci、および、ドーラ・ヴァスケズaciです。ACIファミリーが本会のカリスマと、聖ラファエラ・マリアに対する愛を抱いていることを目の当たりにしたことは、わたしたちにとって喜びでした。聖ラファエラ・マリアについて、彼女たちはどれほど愛をこめて語ったことでしょうか！

総会のテーマ、「刺し貫ぬかれたみ心のうちに、神のいつくしみを観想する」をめぐっての作業の時、私たちはこのテーマに光を当て、より大きな責任の地平を切り開いた様々な人の発表にともに耳を傾けました。自分の召命から始め、一人ひとりが分かち合ったことは、非常に内容豊かなものでした。それに耳を傾けることから生じた確信、呼びかけ、望みも同様でした。この作業の結果として、委員会のメンバーたちは、ACIファミリーのための行動と、聖心侍女との関わりの方針を提示しました。

これらはわたしたちが、個人的、また職業的な領域に於いて、また、今日の世界の必要に応える取り組みの上でも、いつくしみを基調として生きる望みがどのように深められたかを理解する上で助けとなりました。

ローマ 2017年5月18日
シスター・ロサリオ・フェルナンデス・ヴィリヤランaci

- **ACIファミリーは、イエスのみ心への償いを中心としている。**イエスとの関係を深めていく望み。
- **シスターたちと身近に接することにより、信徒が聖心侍女の使命とカリスマを自分たちのものとする。**カリスマに対する愛。すべての活動に於いて、カリスマのしるしを刻みたいという望み。聖体祭儀、聖体礼拝、および生活の次元において、エウカリスティア的霊性を生きる努力。
- **聖心侍女修道会の提案に協力し、それを実行する望み。**信徒がシスターたちと教育の使命を分かち合い、信徒として活動するためには、会のカリスマにおける養成が必要であるとの確信。ボランティア活動。
- **「いつくしみ」を基調として生きるようにとの呼びかけ。**償いという基準と償いの人間関係を、生活の中に反映させる。傷を癒し、争いを仲介する人、喜び、希望、優しさ、落ち着き、無償性、そして、感謝を生きる人になること。他の人を理解できる人、人を裁き、罪に定めないこと。自分自身と他人を赦すこと。いつくしみのかけ橋となること。出会いの文化を通して、すべてを受け入れる関係性に生きる。いつくしみの業の実行。ACIファミリーの、異なった世代間の補完性。
- **シスターズ存在と同伴の大切さ。**すべてのシスターズがACIファミリーを知り、愛し、励まし、人々に紹介したい、との望みを持つこと。より深い養成と同伴への乾き。
- **カリスマ、霊性、識別における統合的な養成の必要性。**理論だけに留まらないこと。
- **ACIファミリーへの帰属意識を深め、活性化するようにとの呼びかけ。**
- **信徒としての強いアイデンティティーの自覚。**聖体礼拝と祈りが自分たちのアイデンティティーをいかに強めるかは明らかである。
- **「外に向かう態度」。**今日の世界の叫びに無関心でいられない。使徒的奉仕を通して、地域の教会と繋がること。
- **「共に暮らす家」を大切にす、ラウダト・シ、内省、意識化、および具体的な行動。**

第20回総会、ACIファミリーの参加

内に向かって

次のことを継続する



- カリスマの優先的養成
- 同伴
- 識別
- 礼拝、祈り、エウカリスティア
- ACIファミリー第2回国際集会の最終の文書を内的に深める考察

外に向かって



「ともに暮らす家」に関して

- 意識を高め、敏感になり、行動に責任を持つ。
- 関係を大切にする：自分自身と、他人と、自然と、そして、神との関係

もっとも恵まれない人々に関して

- それぞれの場所とグループの具体的な現実を知る。
- 呼びかけを識別し、選択する。

2. ACIファミリーの第3回国際集会（2019年2月／3月）

すでに生きてきたことを一層深めていくとき、私たちは、同じ意味と方向性を持ちながらも、もっとわたしたちを駆り立てる新しいニュアンスと、理解のレベルがあることに気づきました。それは、内に向かって、そして、外に向かって、新たな呼びかけと行動方針に耳を傾けていくことです。

内に向かって

1. アイデンティティー／カリスマ：聖ラファエラ・マリアの生涯と使徒的礼拝

- 人生の学舎として聖体礼拝を生きる。
- 聖体礼拝においてわたしたちは、エウカリスティアが「心臓の鼓動」であることを体験する。この心臓の鼓動は、私たちがダイミックな人にし、自分から出て他の人々、世界、自然・・・に向かわせ、その後に、わたしたちを再びエウカリスティアに引き寄せる。
- わたしたちは、聖体礼拝において無償で恵みを受けていること、これを自分のためだけに保留することはできないこと、恵みを受けたなら、それを行動に変えなければならないこと、を自覚する。

外に向かって

1. 「ともに暮らす家」を保護する（JPIC - 正義、平和、創造の保全性。 参照 大神殿の中にあるかのようにこの世界に生きる）

創られたものにはすべて価値と美しさがある。

…美しいものを見て評価することを学ぶことにより、私たちは自己中心的な実用主義を退けることを学ぶ (ラウダト・シ 215)

中立的立場などというものは存在しない…

– 買うことは、常に、道徳的行為である… (ラウダト・シ 206)

償い

a. 善をもって悪に報いる…

b. 神と協力して和解に生きる

…人々が互いに和解し、神との和解に至り、又、人々のために創られたこの天地万物が、神の栄光を顕すものとなるように協力する。(聖心侍女修道会 会憲2)

万物は相互に関わりあっている
私がし損なうことは、誰も代わりにやってくれない
私たちはもう一步踏み出さなければならない…世界が必要とする一步を

国際集会において、「ともに暮らす家を保護する」ことについてのグループワークの結果として、わたしたちは以下のことを決定しました：

エウカリスティアは、宇宙と、私たちの生活のダイナミックな中心です。そのため、私たちは、以下のことに取り組みます：

- 創造の守り手となる。
- 観想的な憩いと、祝いの感覚を取り戻す。
- 聖体礼拝の使徒的意義を促進する。これによってわたしたちは、外に出向いて行き、それぞれの場で、様々な具体的な使徒活動をするようになる。
- 常に創造のみわざに感謝する、とりわけ、そこから食物をいただく時に。

万物は互いに結び合わされています。正義、平和、創造の保全性。そのため、私たちは次のことに取り組みます：

- この世界の苦しみを自覚し、それを自分のものとして受け止める。
- 支配的な構造によって最も傷つけられている人々と、より密接なコンタクトをとる。彼らは、創造界の状況悪化から一番被害を被っている人々である。そして、私たちの行動が、この人々の上に及ぼす結果を把握するように努める。
- マジスのダイナミズムによって、小さいことから私たちの生活スタイルを変えていく：消費主義、リサイクル、水の使い方・・・。

宇宙万物とともに、私たちは、素晴らしいグローバルコムニオンを形成しています。そのため、私たちは次のことに取り組みます：

- 神の心から出発して、人間の心を教育する。それは、私たちの、他人との係り方の決め手である。
- 自分自身の声に、共同体に、世界に、耳を傾ける。熟考し、自己を教育する。癒し、証をたてる、具体的な行動をもって償いを生きる道を探求する。
- 私たちの共同体の絆を強める、建設的で持続可能な休息のスペースを生み出す。

そして、毎日**新たな一歩**を踏み出すために、私たちは次のことに取り組みます：

- 週に一度、「エコロジーに関する意識の糾明」を行い、私たちの取り組みを具体的な行動に移すために、ACIファミリーの他のグループとその結果を分かち合う。

エコロジーに関する意識の糾明

「あたかも大神殿の中にいるかのように、この世界にいることを、すべての行動において意識していなければならない。」

1. **感謝する…御父の愛から受けた贈り物としての世界に対して。**
 - a. 宇宙万物は、神の愛の言葉を、私たちに対する計り知れない愛を語っている。
 - i. 私は、生命、太陽、光、水、エネルギー、食物、呼吸するための空気…を受けた。
 - b. 宇宙に存在するすべてのものは、見えない絆によって結ばれている。そして、一種の宇宙の家族、崇高なコムニオンを形成している。この崇高なコムニオンは、聖にして、謙虚で、愛に満ちた尊敬へとわたしたちを動かす。
 - i. 被造物には、その有用さを超えた、価値と美しさがある。
 - ii. わたしが結ばれている兄弟、姉妹たち。
2. **神の眼差しで見るための光を願う…静かに、すべてに注意を傾けて生きる。次に何が起こるかを考えることなく、まさに今生きていることを意識する。真に生きなければならない神の賜物として一瞬一瞬を自己を捧げて生きる。このような心の姿勢を願う。**
3. **愛を込めて意識の糾明をする**
 - a. 自分自身、他者、神、そして、被造界とわたしの、感謝と愛に満ちた関係。
 - i. 今週、エウカリスティアは、私の生活の中でどのような場を占めてきたか。聖体祭儀、観想的休息、使徒的礼拝において…？
 - ii. その愛の絆を意識して過ごしてきたか、それとも忘れていたか、それとも簡単にこの愛の絆を破棄してしまったか？ それはいつだったか？
 - iii. 何か美しいものを発見し、あるいは、観想したか？
 - b. 事物と自分の間の、尊敬と思いやりに満ちた関係
 - i. 水や環境に注意を払い、使う回数を減らし、公共交通機関を使ったか？

- ii. 必要なものだけを買ったか？ 最も安いものを買ったか、あるいは、長持ちするものを買ったか？ わたしに必要なものを買ったか、あるいは、世界が必要としているものを買ったか？
 - iii. 紙、プラスチック製品、有機素材、ガラス...をリサイクルに出したか？
 - iv. 何かを再利用したか？
- c. わたしの住んでいるところ、わたしの家族、仕事場、社会...におけるわたしの位置
- i. 良い模範を示すことによって、自分の信条を証してきたか？
 - ii. 「ともに暮らす家」の世話をするために、何らかの行動したか、または、何か発言したか？
 - iii. 私は変化をもたらす者であったか？
4. エコロジカルな正義と和解への回心の恵みを願う
- a. 被造界、そして、兄弟姉妹たちを保護する上で、私にはどの点が足りなかったか？
 - b. どのようにして私は心の回心を見出せるだろうか？
5. 自分と神、被造界、そして、人類との関係に於ける和解の恵み、そして、自分の活動を通してこれらと連帯のうちに生きる恵みを願う
- a. どのように被造界とわたしとの関係を修復し、エウカリスティアを中心において、被造界を大切にするという私の望みと調和した決定をすることが出来るだろうか。
6. 地球と、社会の中の弱い立場にある全ての人々のために、最後の祈りを捧げる

3. 最も恵まれない人々と関わる：難民（人類移住のプロジェクト）

わたしたちは、難民、移住者、移民である兄弟姉妹たちの「うめき声」に心から耳を傾けました。そして、現代のこのドラマに応えたいと望む聖心侍女と一致して行動する一つの可能性は、修道会の、「人類移住のプロジェクト」に協力することだという結論に達しました。

人類移住のプロジェクト（第20回総会）は私たちを招いている：

…それぞれの場所で現状に敏感になり、予防し、受け入れ、支え、祈り、人類移住の恐ろしいほどの状況の中で苦しんでいる人たち、特にその影響を受けている女性と子供たちのために責任を持って行動しましょう。

受け入れる — 守る — 促進する — 共生する （教皇フランシスコの動詞）

個人として、また、ACIファミリーとして、この人々を温かく迎え、受け入れるようになるために、私たちに具体的な何をすべきでしょうか？

ニュースレター： <http://www.congregacion-aci.org/proyecto-mh-cg-xx/>参照

(地図 - 人類移動の状況の中にいる人々への支援)

4. その他の挑戦

- ACIファミリーと聖心侍女が共に働き/同じ使命を分かち合う

- ACIファミリーと聖心侍女が共に働き、同じ使命を分かち合うことを現実のものとするために、どのようなことを提案するか？

- 資金の調達

- ACIファミリーを、地域および国/管区レベル、また、国際レベルにおいて、財政的に独立したものにするにはどうすればよいか？ (地域、国、管区レベルでの集会への参加、物品、組織、および、国際集会への参加、ウェブページ…？)

5. 結論として、次のガイドラインを提示します：

それぞれの国で、ACIファミリーとともに考えるために

A. アイデンティティー

私たちは：

- 国際的な性格を持つ、信徒のファミリー
- 聖ラファエラ・マリアのカルスマを分かち合う個人あるいはグループ
- 私たちが再建したいと願っている、苦しんでいる世界との連帯のうちに

私たちは望む：

- 聖ラファエラ・マリアとその霊性を深めること
- 聖霊の賜物として、聖女の聖体-償いのカルスマを受け入れる
- 神の愛を発見し、この愛に対する応えとして償いを生きる

そして各自がこれを「どのように」実行に移すかを考えなければならない。祈りのうちに自問しよう：

自分たちの生活のために、そして、ACIファミリーのために望むものは何か？

- 個人的に…
- 共同体として…

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">内に向かって</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">外に向かって</div> <u>ともに暮らす家に関して</u> <u>最も恵まれない人々に関して</u>
---	---

B. ACIファミリーと聖心侍女が 共に働き／共通の使命を分かち合う

- ACIファミリーと聖心侍女が、共に働く，共通の使命を分かち合うということを、現実のものとするために、あなたはどのようなことを提案するか？
 - 使徒的意味をもって、聖体礼拝に参加することによって？
 - 共に暮らす家を大切にしながら？
 - 最も恵まれない人々に係わって？
 - その他の奉仕あるいは使徒活動において？

C. 財政

- ACIファミリーを、地域および国／管区レベル、また、国際レベルにおいて、財政的に独立したものにするにはどうすればよいのか？（地域、国および管区レベルでの集会への参加、物品、組織、および、国際集会への参加、ウェブページ…？

主に従い、神の国のために働くにあたって、新たな一步を踏み出すことができるよう、主がわたしたちを助けて下さいますように！

そうなることを願いつつ・・・

感謝！